# 投資信託説明書(交付目論見書)

使用開始日 2026.07.25

# ニッセイAI関連株式ファンド

(年2回決算型・為替ヘッジあり)／(年2回決算型・為替ヘッジなし)
(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

愛称:AI革命
(年2・為替ヘッジあり)／(年2・為替ヘッジなし)
(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

本書は金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。
ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は、下記の委託会社のホームページで閲覧またはダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれておりますが、約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に添付されています。

**ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。**

委託会社[ファンドの運用の指図を行います]
ニッセイ アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者登録番号　関東財務局長(金商)第369号

受託会社[ファンドの財産の保管および管理を行います]
三菱UFJ信託銀行株式会社

お問合せ ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター 0120-762-506
9:00～17:00(土日祝日・年末年始を除く)
ホームページ https://www.nam.co.jp/

岩井コスモ証券

# 「重要情報シート」（投資信託編）

投資信託

本書面には、個別商品の商品性やリスク、運用実績、手数料等の重要な事項を簡潔に記載しています。金融商品への投資判断に際しては、目論見書も合わせてご確認ください。

## 1.商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

| | | | |
|---|---|---|---|
| **金融商品の名称・種類** | **ニッセイAI関連株式ファンド<br>（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）<br>（年2回決算型・為替ヘッジあり）／（年2回決算型・為替ヘッジなし）** | | |
| **組成会社（運用会社）** | ニッセイアセットマネジメント株式会社 | **販売会社** | 岩井コスモ証券株式会社 |
| **金融商品の目的・機能** | 投資対象とする外国投資信託証券を通じ、日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 | | |
| **商品組成に携わる事業者が想定する購入層** | 日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、中長期での資産形成を目的とする方を想定しています。<br>信託財産の中長期的な成長を目指し日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とすることから、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方を想定しています。 | | |
| **パッケージ化の有無** | このファンドは、複数のファンドを組入れるファンド・オブ・ファンズ(FOFs)です。ただし、これらを個別のファンドとして購入することはできません。 | | |
| **クーリング・オフの有無** | ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。 | | |

次のような
ご質問があれば
お問い合わせください

◇あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。
◇この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
◇この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてどのようなメリット・デメリットがあるのか。

## 2.リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

| | |
|---|---|
| 損失が生じるリスクの内容 | ファンドは、主に国内外の株式を投資対象としますので、組入株式の価格の下落、組入株式の発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え、為替の変動により損失を被ることがあります。主なリスクは、以下の通りです(ただし、以下に限定されるものではありません)。<br>■株式投資リスク<br>■為替変動リスク<br>■カントリーリスク<br>■流動性リスク |
| 参考:過去１年間の収益率 | （為替ヘッジあり）　：74.9%　（2026年4月末現在）<br>（為替ヘッジなし）　：102.9%（2026年4月末現在）<br>（年2回決算型・為替ヘッジあり）：74.3%（2026年4月末現在）<br>（年2回決算型・為替ヘッジなし）：101.0%（2026年4月末現在） |
| 参考:過去５年間の収益率 | （為替ヘッジあり）　：平均12.3%/最低-43.9%（2022年12月）/最高74.9%（2026年4月）<br>（為替ヘッジなし）　：平均24.3%/最低-33.9%（2022年12月）/最高102.9%（2026年4月）<br>（年2回決算型・為替ヘッジあり）：平均12.2%/最低-43.8%（2022年12月）/最高74.3%（2026年4月）<br>（年2回決算型・為替ヘッジなし）：平均24.0%/最低-33.7%（2022年12月）/最高101.0%（2026年4月）<br>（2021年5月～2026年4月の各月末における直近1年間の数字） |

※リスクは上記に限定されるものではありません。
※損失リスクの内容の詳細は交付目論見書の「投資リスク」（P5～P8）、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。

次のような
ご質問があれば
お問い合わせください

◇上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
◇相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

次頁以降も必ずご確認ください

## 3.費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

<table>
<tr><td>購入時に支払う費用<br>（販売手数料など）</td><td colspan="3">購入申込金額に応じて、次の手数料率を乗じて得た金額が販売手数料となります。<br><table><tr><th>購入申込金額 *</th><th>手数料率（税込）</th></tr><tr><td>1,000万円未満</td><td>3.30%</td></tr><tr><td>1,000万円以上　1億円未満</td><td>2.20%</td></tr><tr><td>1億円以上　3億円未満</td><td>1.10%</td></tr><tr><td>3億円以上　5億円未満</td><td>0.55%</td></tr><tr><td>5億円以上</td><td>無手数料</td></tr></table>＊ 購入申込金額＝購入口数×基準価額+購入時手数料（税込）<br>なお、コース間のスイッチングによる購入の場合は無手数料です。</td></tr>
<tr><td>継続的に支払う費用<br>（信託報酬など）</td><td colspan="3">運用管理費用(信託報酬)は毎日、ファンドの純資産総額に年率1.8925%(税込)程度をかけた額とし、ファンドから実質的にご負担いただきます。また、監査費用は毎日、ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。<br>その他、組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等は随時、ファンドからご負担いただきますが、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。</td></tr>
<tr><td>運用成果に応じた費用<br>（成功報酬など）</td><td>ございません。</td><td>売却（解約）時に支払う費用<br>（信託財産留保額など）</td><td>ございません。</td></tr>
</table>

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は交付目論見書「ファンドの費用・税金」に記載しています。

次のような
ご質問があれば
お問い合わせください

◇私がこの商品に○○万円を投資したら、それぞれのコストが実際いくらかかるのか説明してほしい。
◇費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

## 4.換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

| | |
|---|---|
| 信託期間 | このファンドの償還日は、2044年10月25日です。<br>ただし、償還延長や繰上償還の場合があります。 |
| 信託財産留保額 | ございません。 |
| 解約の制限事項 | 金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込みの受付けを中止すること、および既に受付けた換金の申込みの受付けを取消すことがあります。なお、申込日がニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、換金の申込みの受付けを行いません。 |
| 申込不可日 | ファンドには申込不可日があり、当社の営業日であっても、申込不可日には換金ができません。<br>その他、取引所等における取引の停止等の場合等には、換金ができないことがあります。 |
| 購入・換金申込受付の中止及び取り消し | 金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを中止すること、および既に受付けた購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを取消すことがあります。 |

※詳細は交付目論見書「お申込みメモ」に記載しています。

次のような
ご質問があれば
お問い合わせください

◇私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

次頁以降も必ずご確認ください

## 5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性

| |
|---|
| 当社がお客様に当商品を販売した場合、当社は、お客様から購入時に支払う費用（販売手数料）を頂きます。販売手数料は、購入時における商品及び関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として頂戴するものです。<br>また、信託報酬のうち、組成会社から年0.88%（税込）の販売会社報酬を頂きます。これは購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価として頂戴するものです。 |
| 当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別な関係はありません。 |
| 当社営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他商品の販売より高く評価されるような場合もあります。 |

※利益相反の内容とその対処方針については、当社ホームページの「お客様本位の業務運営に関する原則」をご参照下さい。
https://www.iwaicosmo.co.jp/corporate/policy/fiduciary/

次のような
ご質問があれば
お問い合わせください

◇あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私にすすめていないか。
私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社ではどのような対策をとっているのか。

## 6.租税の概要（NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠、iDeCoの対象か否かもご確認下さい）

課税上は株式投資信託として取扱われます。
公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。
つみたて投資枠、iDeCoの対象商品ではありません。

※ 詳細は交付目論見書の「お申込みメモ　課税関係」や「ファンドの費用・税金」に記載しています。

## 7.その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧下さい）

| | |
|---|---|
| 販売会社（当社）が作成した「契約締結前交付書面」 | 当社ホームページの「重要情報シート（投資信託編）」にてご確認下さい。 |
| 組成会社が作成した「目論見書」 | https://www.iwaicosmo.co.jp/lp/sheet_importance/ |

**金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば、紙でお渡しします。**

（2026年7月25日）

岩井コスモ証券

# 「重要情報シート」（投資信託編）

投資信託

「回答例」

①あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。

岩井コスモ証券では、「顧客第一主義」の考えに基づき、お客様それぞれのご投資方針・目的・知識・ご経験などに柔軟かつ的確にお応えできるよう、さまざまな商品を取り揃えており、コンサルティングを通してお客様一人ひとりの資産運用・資産形成ニーズに沿って、お客様にふさわしいと判断した商品のご提案するよう努めております。

②この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

岩井コスモ証券では、商品やサービスのご提供・推奨するにあたり、お客様に適切にご判断いただけるよう商品やサービスの内容や相場状況などの重要な情報を丁寧にわかりやすくお客様へご説明するよう努めております。
また投資信託をご購入されたお客様へは、定期的に作成された運用報告書や月次レポートも随時ご案内するなど、商品をご購入後も市場動向や投資環境の変化、お客様のニーズに沿って適切なアフターケアを行うよう努めております。

③この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてどのようなメリット・デメリットがあるのか。

一般的に通常の投資信託は、複数の有価証券（株や債券、投資信託など）に分散して投資を行う商品となります。投資信託のメリットは、分散投資によりリスクが低減がされることや、少額で投資ができることが挙げられます。また、運用をファンドマネージャーに任せることで、お客様ご自身で銘柄発掘や銘柄入れ替えを行う手間が省けるメリットもあります。しかしながらその一方で、運用管理費用等がかかることや、ご自身で運用をおこなっていないため、運用内容が分かりづらいといったデメリットが考えられます。

④上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

岩井コスモ証券では、商品やサービスのご提供・推奨するにあたり、お客様に適切にご判断いただけるよう商品やサービスの内容や相場状況などの重要な情報を、丁寧にわかりやすくお客様へご説明するよう努めております。また、それぞれの投資信託における基準価額の変動要因等の投資リスクの詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」にてご確認ができます。

⑤相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

当社ホームページにおきまして、「商品案内」＞「投信」＞「詳細検索」により、投資対象資産や投資地域などをご指定して検索していただくことで類似商品の運用状況等がご確認いただけます。
一般的には株式よりもプレーンな公社債へ投資する投資信託の方がリスクは低いと考えられており、また為替リスクのある外貨建て資産よりも円貨建て資産や為替リスクをヘッジした外貨建て資産の方がリスクは低いと考えられています。

⑥私がこの商品を〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。

○投資信託をご購入の際に、購入時手数料がかかります。岩井コスモ証券では購入時の手数料率は、ご購入される投資信託の種類により異なります。また同じ投資信託でもお申込み金額により手数料率は異なります。
○投資信託を保有されている間は、運用管理費用（信託報酬）を間接的にご負担いただきます。これは投資信託を管理・運用するための経費として、純資産総額に対する年率で表示され、日々信託財産の中から差し引かれております。
○換金時におきましては、投資信託の種類によっては信託財産留保額がかかる場合がございます。
※運用管理費用や信託財産留保額につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）の「手続き・手数料等」に詳細が記載されておりますのでご確認ください。

岩井コスモ証券

# 「重要情報シート」（投資信託編）

投資信託

「回答例」

⑦費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

当社ホームページにおきまして、「商品案内」＞「投信」＞「詳細検索」により、投資対象資産や投資地域などをご指定して検索していただくことで類似商品をご確認いただけます。
またインデックスファンドの類似商品には、同一指数に連動するETFがございますが、ETFの方が費用が安い場合がございます。

⑧私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい

○投資信託を換金・解約する際には、信託財産留保額や換金時手数料がかかる場合がございます。
○各投資信託（主に海外へ投資する投資信託の場合）には購入・換金申込不可日が定められており、それに該当する日には換金・解約のお申込みはできません。
○各投資信託には、お申込み受付時間が定められており、受渡日も各投資信託により異なります。
○投資信託によっては運用を円滑に行うために、大口の換金・解約のお申込みに制限を行う場合がございます。
※換金・解約に関する詳細は、投資信託説明書（交付目論見書）の「手続き・手数料等」よりご確認いただけます。
○投資信託を短期間で解約された場合、保有期間あたりの購入時手数料が長期間保有した場合に比べ割高となります。

⑨あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私にすすめていないか。
私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社ではどのような対策をとっているのか。

岩井コスモ証券では「顧客第一主義」に基づき、営業員が投資アドバイザーとして、高度な専門性と高い倫理観を持って、お客様本位のサービスに徹することが重要であると認識しております。営業員は、お客様の資産形成を全力でサポートするために日々研鑽を重ね、お客様の多様な投資ニーズやライフスタイルに応じた最適な金融サービスの提供に努めなければならないと考えております。また、お客様の利益が損なわれることのないよう「利益相反管理方針」を策定し、当該方針に基づいた営業活動の推進とその管理に向けて、定期的に利益相反取引に対する研修を実施するなど、役職員の利益相反取引に対する意識の向上に努めるとともに、営業部門から独立した管理部署が利益相反に該当する取引等について一元的に管理する体制を採っております。

# 目論見書補完書面（投資信託）

（この書面は、金融商品取引法第 37 条の 3 の規定によりお渡しするものです。）

この書面および目論見書の内容をよくお読みください。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

## 当ファンドに係る金融商品取引契約の概要

岩井コスモ証券株式会社（以下「当社」といいます。）は、ファンドの販売会社として、募集の取扱い及び販売等に関する事務を行います。

## 当社が行う金融商品取引業の内容及び方法の概要

当社が行う金融商品取引業は、主に金融商品取引法第 28 条第１項の規定に基づく第一種金融商品取引業であり、当社においてファンドのお取引や保護預けを行われる場合は、以下によります。

- 国内投信のお取引にあたっては、保護預り口座および振替決済口座の開設が、また、外国投信のお取引にあたっては外国証券取引口座の開設が必要となります。
- お取引のご注文は、原則として、あらかじめ当該ご注文に係る代金の全部又は一部（前受金等）をお預けいただいた上で、お受けいたします。
- 前受金等を全額お預けいただいていない場合、当社との間で合意した日までに、ご注文に係る代金又は有価証券をお預けいただきます。
- ご注文いただいたお取引が成立した場合（法令に定める場合を除きます。）には、取引報告書をお客様にお渡しいたします（郵送又は電磁的方法による場合を含みます）。

## 当社とお客様との利益が相反するおそれ

当ファンドのお取引に関し、以下の事項があることにより、当社とお客様との利益が相反するおそれがあります。

- 当社は、当ファンドを販売することにより、目論見書に記載の販売会社が配分を受ける信託報酬を受領いたします。
- 当社の役職員又は特定の部署に対する業績評価上、当ファンドの販売実績が他のファンドの販売実績より高く評価される場合もあります。そのため、当社の営業員は当ファンドを他のファンドより優先して推奨・販売する動機が生じ得る立場となる場合もあります。

## 当社の概要

商　号　等　　岩井コスモ証券株式会社　金融商品取引業者　近畿財務局長（金商）第１５号
本店所在地　　〒541-8521 大阪市中央区今橋 1－8－12
加 入 協 会　　日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
指定紛争解決機関　特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせん相談センター
資　本　金　　１３５億円
主 な 事 業　　金融商品取引業
設 立 年 月　　大正 6 年 12 月
連　絡　先　　お客様相談室（0120-405-546）又はお取引のある支店にご連絡ください。

（２０２６年４月）

本書は、以下のファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」から構成されております。

① ニッセイAI関連株式ファンド
（年2回決算型・為替ヘッジあり）／（年2回決算型・為替ヘッジなし）
愛称:AI革命（年2・為替ヘッジあり）／（年2・為替ヘッジなし）

② ニッセイAI関連株式ファンド
（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）
愛称:AI革命（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

本書の前半は上記①、後半は上記②の「投資信託説明書（交付目論見書）」となっております。

- 上記①および②の4本のファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、購入時と同様に販売会社が定める購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時と同様に税金がかかる場合があります。

  ! 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

# 投資信託説明書(交付目論見書)

使用開始日 2026.07.25

# ニッセイAI関連株式ファンド
# (年2回決算型・為替ヘッジあり)／
# (年2回決算型・為替ヘッジなし)

## 愛称:AI革命(年2・為替ヘッジあり)／(年2・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

年2回 決算型

本書は金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。
ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は、下記の委託会社のホームページで閲覧またはダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれておりますが、約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に添付されています。

**ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。**

委託会社[ファンドの運用の指図を行います]

**ニッセイ アセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者登録番号　関東財務局長(金商)第369号

受託会社[ファンドの財産の保管および管理を行います]

**三菱UFJ信託銀行株式会社**

お問合せ ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9:00～17:00(土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ https://www.nam.co.jp/

本書においては、各ファンドの名称について下記の正式名称または略称のいずれかで記載します。
ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)…為替ヘッジあり
ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)…為替ヘッジなし

## ◉委託会社の情報 (2026年4月末現在)

| | |
|---|---|
| 委託会社名 | ニッセイアセットマネジメント株式会社 |
| 設立年月日 | 1995年4月4日 |
| 資本金 | 100億円 |
| 運用する投資信託財産の合計純資産総額 | 11兆842億円 |

## ◉商品分類等

| ファンド名 | 商品分類 | | | 属性区分 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 単位型・追加型 | 投資対象地域 | 投資対象資産(収益の源泉) | 投資対象資産 | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態 | 為替ヘッジ |
| 為替ヘッジあり | 追加型 | 内外 | 株式 | その他資産(投資信託証券(株式(一般))) | 年2回 | グローバル(日本含む) | ファンド・オブ・ファンズ | あり(フルヘッジ) |
| 為替ヘッジなし | | | | | | | | なし |

・属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、為替変動リスクに対する対円でのヘッジの有無を記載しております。

商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人資産運用業協会ホームページ
https://www.imaj.or.jp/ にてご確認いただけます。

- 本書により行う「ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)／(年2回決算型・為替ヘッジなし)」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2026年7月24日に関東財務局長に提出しており、2026年7月25日にその届出の効力が生じております。
- ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律に基づいて組成された金融商品であり、同法では商品内容の重大な変更に際しては、事前に受益者(既にファンドをお持ちの投資者)の意向を確認する手続きが規定されています。また、ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法によって受託会社の固有財産との分別管理等が義務付けられています。
- 商品内容・販売会社に関するお問合せは、委託会社のコールセンターで承っております。
- 基準価額(便宜上1万口当りに換算した価額で表示されます)については、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊(ファンド掲載名 為替ヘッジあり:AI革命2有 ／ 為替ヘッジなし:AI革命2無)および委託会社のコールセンター・ホームページにてご確認いただけます。
- 投資信託説明書(請求目論見書)は、投資者のご請求により販売会社から交付されます。ご請求された場合には、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。

# 1.ファンドの目的・特色

ファンドの運用責任者はこちらです。
（同一の運用責任者が各ファンドを担当します）
https://www.nam.co.jp/fundinfo/naikkf2_a/main.html

## ファンドの目的

投資対象とする外国投資信託証券を通じ、日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ファンドの特色

### 1 日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI（人工知能）関連企業の株式に投資を行います。

●当ファンドにおけるAI関連企業とは、①AIの基礎技術等を提供する企業、②AIを開発・提供する企業、③AIを活用した製品・サービス等を提供する企業をさします。

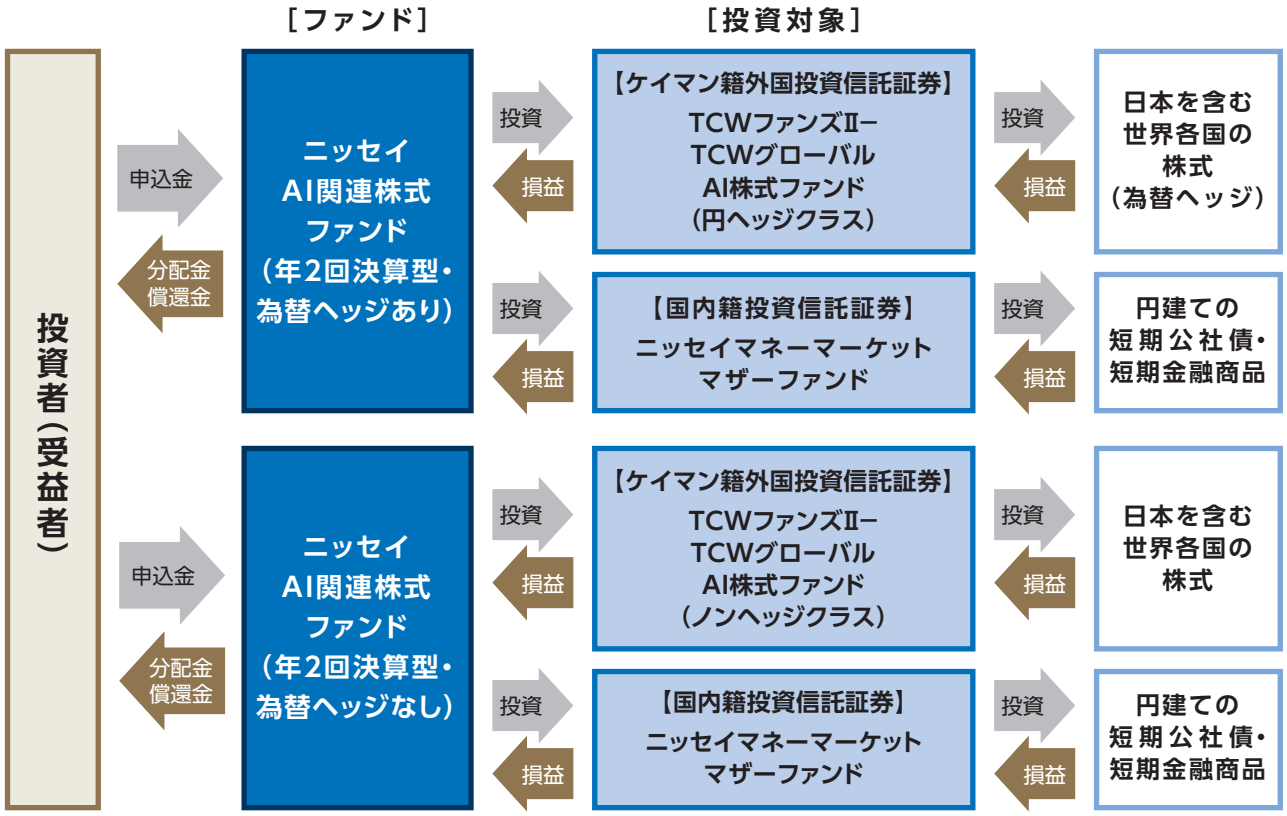
AI（人工知能）とは、Artificial Intelligenceの略で、学習・推論・判断といった人間の知能のもつ機能を備えたコンピュータ・システムのことをさします。

### 2 株式の運用は、TCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。

●ファンドは、「TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド」の各クラスおよび「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ※方式で運用を行います。
※ファンド・オブ・ファンズとは、投資対象を投資信託証券とするファンドです。

●「TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド」各クラスの組入比率は、原則として高位を保ちます。

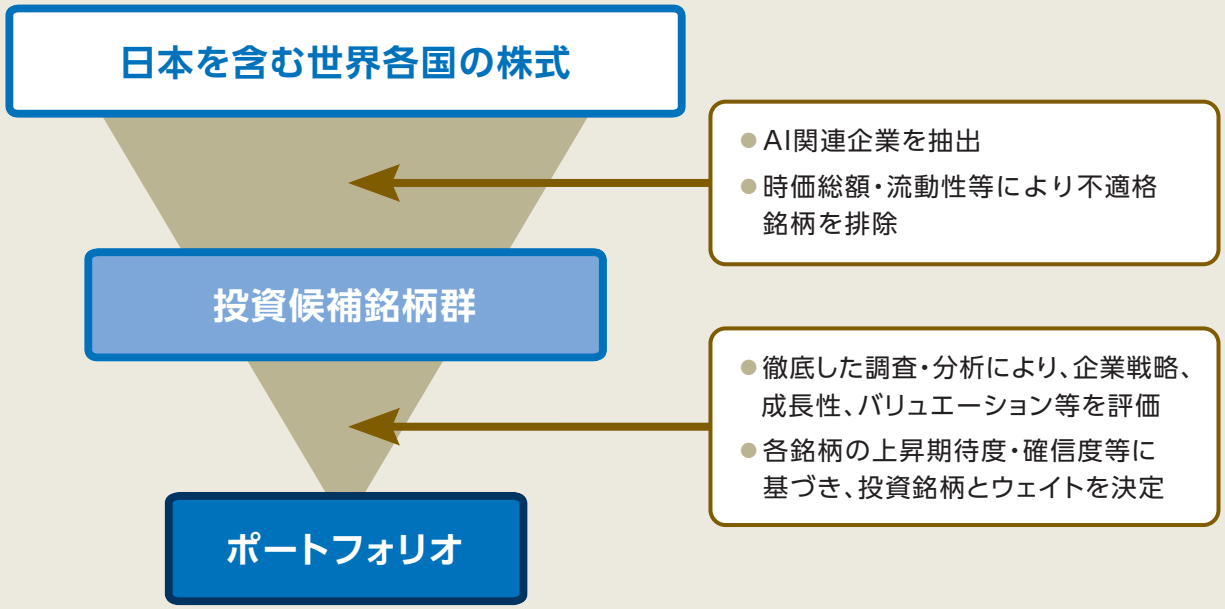
**ファンドの仕組み**



《TCWアセット・マネジメント・カンパニーについて》

TCWアセット・マネジメント・カンパニーは、1971年設立のTCWグループ（以下「TCW」といいます）傘下のグローバル資産運用会社です。TCWは米国、英国、日本、香港等に拠点を有し、機関投資家、年金基金、個人投資家向けに幅広い運用サービスを提供しています。

## 株式運用プロセスのイメージ




・上記運用プロセスは、今後変更となる場合があります。

## 3「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドから選択いただけます。

- 「為替ヘッジあり」は、実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。
- 「為替ヘッジなし」は、実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。
- 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチングが可能です。

・為替ヘッジとは、為替変動による資産価値の変動を回避する取引のことをいいます。
・スイッチングとは、保有しているファンドの換金と同時に乗換えるファンドを購入する取引です。スイッチングの際には、購入時と同様に販売会社が定める購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時と同様に税金がかかる場合があります。
なお、販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

## 4年2回（毎年4・10月の各25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金をお支払いすることをめざします。

❗将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。

## ◉投資対象とする投資信託証券の概要

以下のそれぞれの投資信託証券を「指定投資信託証券」ということがあります。

**TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（円ヘッジクラス）**

**TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（ノンヘッジクラス）**

・本書においては、各クラスのそれぞれを「外国投資信託証券」ということがあります。

| | |
|---|---|
| 形態 | ケイマン籍 外国投資信託（円建て）／オープン・エンド型 |
| 投資目的 | 日本を含む世界各国の取引所に上場している株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることをめざします。 |
| 運用方針 | **〈各クラス共通〉**<br>AI（人工知能）に関する製品・サービスを開発・提供する企業やAIを活用して事業を展開する企業の株式を中心に投資を行います。<br>**〈円ヘッジクラス〉**<br>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。<br>**〈ノンヘッジクラス〉**<br>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 |
| 主な投資制限 | ●通常の状況において、総資産総額の50%以上を日本の金融商品取引法第2条第1項に規定される有価証券に投資します。<br>●有価証券の空売りは行いません。<br>●同一銘柄の株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。<br>●同一企業の発行済み株式数の半数を超える株式への投資は行いません。<br>●投資信託証券（上場投資信託証券等を除きます）への投資割合は、純資産総額の5%以下とします。<br>●流動性の低い資産への投資は行いません。<br>●原則として残存借入総額は、純資産総額の10%を超えないものとします。 |
| 収益分配 | 原則として、年1回の分配を行う方針です。<br>なお、上記収益分配方針は、ニッセイAI関連株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）／（年2回決算型・為替ヘッジなし）の収益分配方針ではありません。 |
| 運用報酬 | 純資産総額に対し、年率0.6%程度<br>なお、年間最低報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。 |
| その他の費用 | 信託財産に関する租税／組入有価証券の売買委託手数料／信託事務の処理に要する費用／信託財産の監査費用／法律関係の費用／外貨建資産の保管費用／借入金の利息　等<br>なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 |
| 購入時手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| 決算日 | 3月31日 |
| 運用会社 | TCWアセット・マネジメント・カンパニー |
| 受託会社 | MUFG Fund Services (Cayman) Limited |
| 管理事務代行会社 | MUFG Fund Services (Cayman) Limited |
| 保管会社 | ルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行 S.A. |

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

| | |
|---|---|
| 投資対象 | 円建ての短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 運用方針 | 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益と流動性の確保をめざします。 |
| 主な投資制限 | ●株式への投資は転換社債の転換等による取得に限るものとし、その投資割合は純資産総額の10%以下とします。<br>●外貨建資産への投資は行いません。 |
| 信託報酬 | ありません。 |
| その他の費用 | 組入有価証券の売買委託手数料／信託事務の諸費用　等<br>なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 |
| 購入時手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| 決算日 | 原則として、4・10月の各15日 |
| 委託会社 | ニッセイアセットマネジメント株式会社 |
| 受託会社 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

## ◉主な投資制限

| | |
|---|---|
| 投資信託証券 | 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 |
| 外貨建資産 | 外貨建資産への直接投資は行いません。 |
| デリバティブ | デリバティブの直接利用は行いません。 |
| 株式 | 株式への直接投資は行いません。 |

! 上記は、「為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」における投資制限です。各ファンドは、投資対象とする指定投資信託証券を通じ、実質的に国内外の株式への投資等を行います。

## ◉収益分配方針

●分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます）等の全額とします。
●分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。
●分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

! 将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。

**資金動向、市況動向等によっては、前述のような運用ができない場合があります。**

# 2.投資リスク

## 基準価額の変動要因

●ファンド（指定投資信託証券を含みます）は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。

●**ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**

### ◉主な変動要因

| | |
|---|---|
| 株式投資リスク | 株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化（倒産に至る場合も含む）等により、価格が下落することがあります。 |
| 為替変動リスク | 〈為替ヘッジあり〉<br>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができるとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。<br>〈為替ヘッジなし〉<br>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。 |
| カントリーリスク | 外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。 |
| 流動性リスク | 市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。 |

・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

○ファンドは、特定のテーマに絞った株式への投資を行います。したがって、株式市場全体の値動きとファンドの基準価額の値動きが大きく異なる場合、また、より幅広いテーマで株式に分散投資するファンドに比べ基準価額の変動が大きくなる場合があります。

○分配金に関しては、以下の事項にご留意ください。

・分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

・受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

○ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。

これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受付けを中止する、また既に受付けた換金の申込みの受付けを取消しする可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性などがあります。

○ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ（金融商品取引法第37条の6の規定）の適用はありません。

## リスクの管理体制

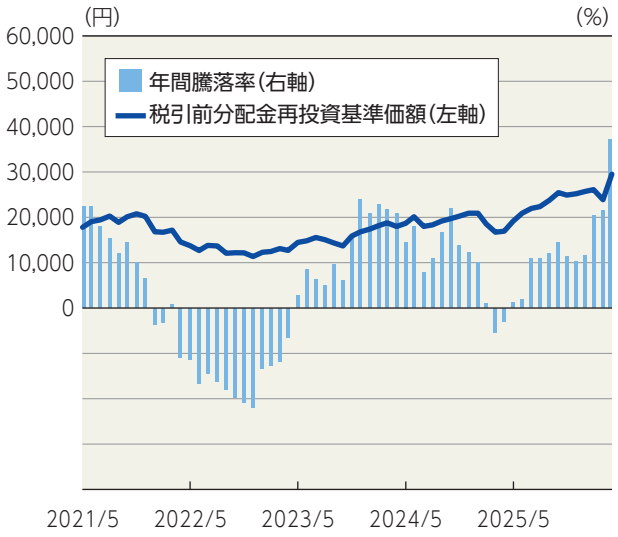
運用リスク管理担当部門が運用状況をモニタリングし、リスク、パフォーマンスの分析・評価、および投資制限等遵守状況・売買執行状況の事後チェックを行います。運用リスク管理担当部門は、そのモニタリング結果を運用担当部門に連絡するとともに社内で定期的に開催される会議で報告します。運用担当部門はその連絡・報告を受けて、必要に応じてポートフォリオの改善を行う等の投資リスクを適正に管理する体制をとっています。

また、委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行っています。そして取締役会等においては、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢などを監督しています。

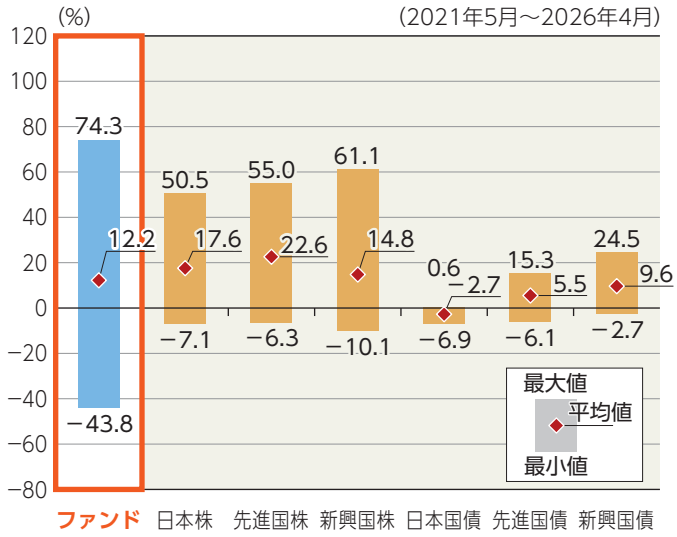
**(参考情報)** 投資リスクに関する参考情報として、ファンドのリスクの定量的な把握・比較を目的に下記のグラフを作成しています。

## ◉ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)

①ファンドの年間騰落率および税引前分配金再投資基準価額の推移

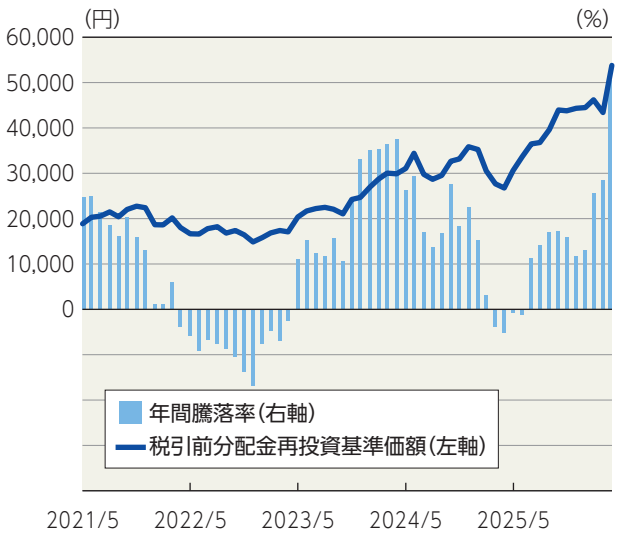



②ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

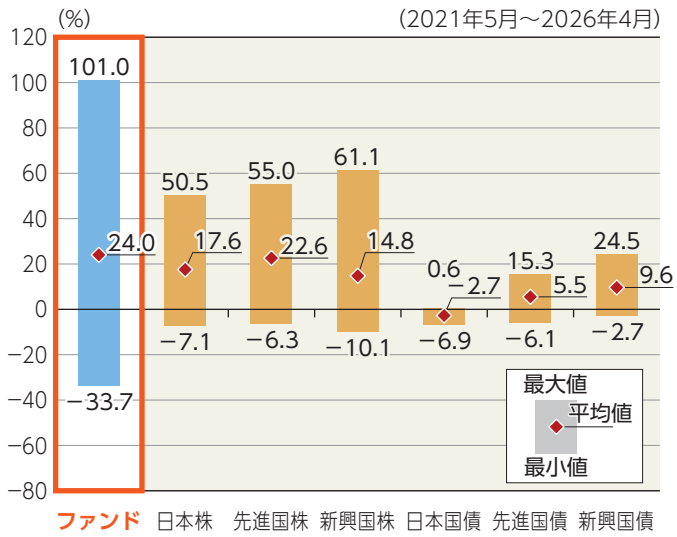



## ◉ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)

①ファンドの年間騰落率および税引前分配金再投資基準価額の推移




②ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較




・グラフにおけるファンドに関する記載は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額によるものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率および実際の基準価額の推移とは異なる場合があります。ファンドおよび代表的な資産クラスの年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率です。
・グラフ①は、過去5年間のファンドの実績です。グラフ②は、過去5年間におけるファンドおよび代表的な資産クラスの年間騰落率の最大値・最小値・平均値について表示しています。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>
日 本 株 ･･･ TOPIX(東証株価指数)(配当込み)
先進国株 ･･･ MSCIコクサイ･インデックス(配当込み、円ベース)
新興国株 ･･･ MSCIエマージング･マーケット･インデックス(配当込み、円ベース)
日本国債 ･･･ NOMURA-BPI 国債
先進国債 ･･･ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
新興国債 ･･･ JPモルガンGBI-EMグローバル･ディバーシファイド(円ベース)
･すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
･海外の指数は、「為替ヘッジなし(対円)」の指数を採用しています。

! 前記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。

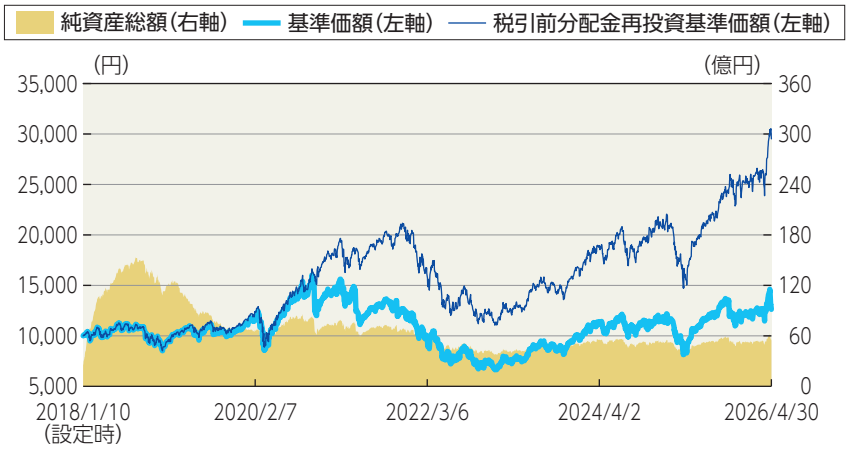
･TOPIX(東証株価指数)の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利･ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
･MSCIコクサイ･インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
･MSCIエマージング･マーケット･インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
･NOMURA-BPI 国債とは、野村フィデューシャリー･リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産は同社に帰属します。なお、同社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
･FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
･JPモルガンGBI-EMグローバル･ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

# 3.運用実績

2026年4月末現在

## ●基準価額・純資産の推移

### ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)



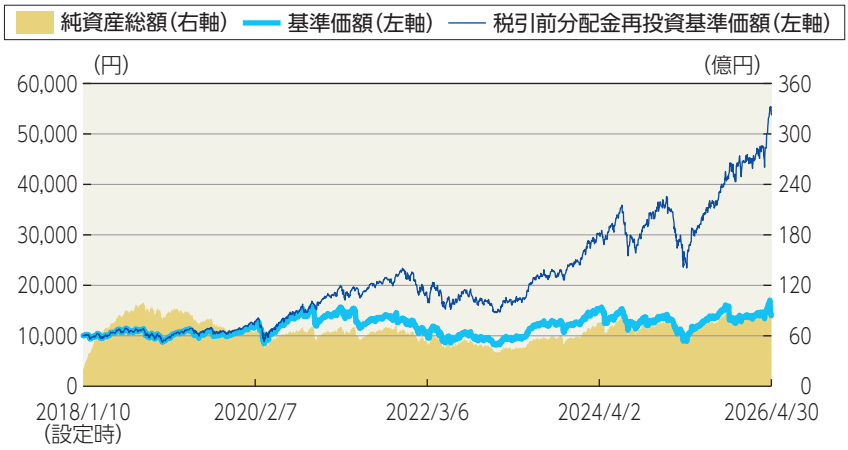

・基準価額は実質的な運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。
・税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 12,623円 |
| 純資産総額 | 54億円 |

●分配の推移　1万口当り(税引前)

| | |
|---|---|
| 2024年 4 月 | 300円 |
| 2024年10月 | 600円 |
| 2025年 4 月 | 0円 |
| 2025年10月 | 1,800円 |
| 2026年 4 月 | 1,600円 |
| 直近1年間累計 | 3,400円 |
| 設定来累計 | 11,100円 |

### ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)




・基準価額は実質的な運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。
・税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 13,956円 |
| 純資産総額 | 93億円 |

●分配の推移　1万口当り(税引前)

| | |
|---|---|
| 2024年 4 月 | 2,300円 |
| 2024年10月 | 1,600円 |
| 2025年 4 月 | 0円 |
| 2025年10月 | 3,000円 |
| 2026年 4 月 | 2,700円 |
| 直近1年間累計 | 5,700円 |
| 設定来累計 | 18,500円 |

## ●組入比率

### ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)

| | |
|---|---|
| TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド(円ヘッジクラス) | 98.4% |
| ニッセイマネーマーケットマザーファンド | 0.0% |
| 短期金融資産等 | 1.6% |

・比率は対純資産総額比です。

### ニッセイAI関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)

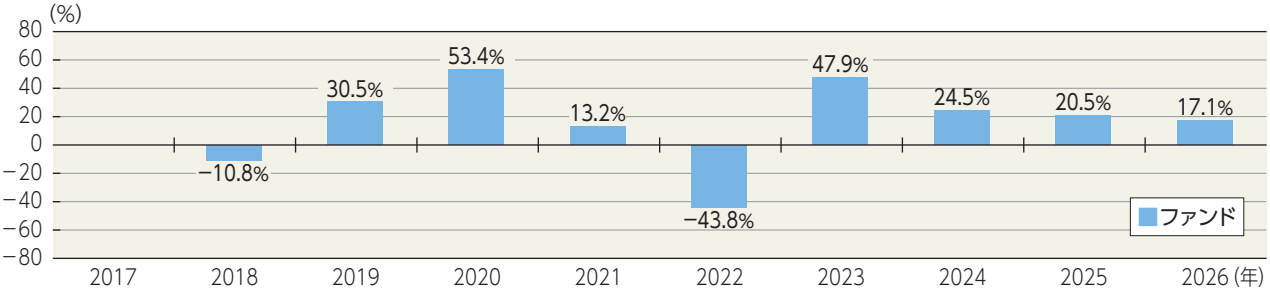
| | |
|---|---|
| TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド(ノンヘッジクラス) | 98.0% |
| ニッセイマネーマーケットマザーファンド | 0.0% |
| 短期金融資産等 | 2.0% |

・比率は対純資産総額比です。

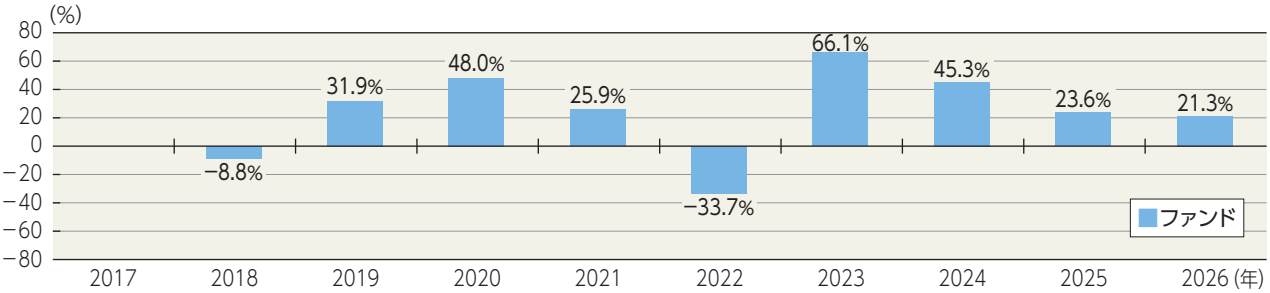
ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
最新の運用実績については、委託会社のホームページでご確認いただけます。

●年間収益率の推移

ニッセイAI関連株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）




ニッセイAI関連株式ファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）



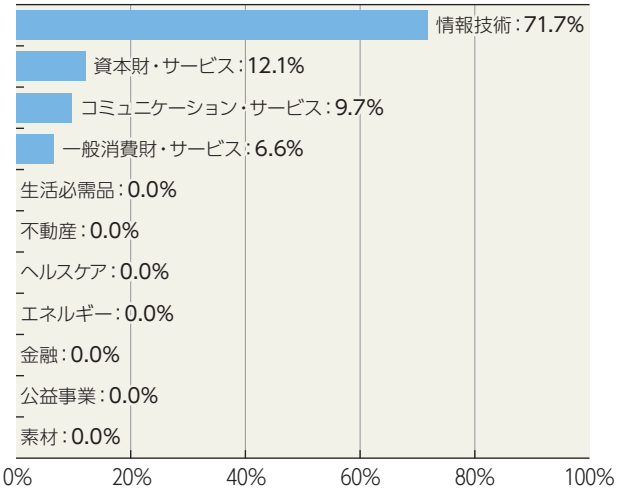

・ファンドにはベンチマークはありません。
・ファンド収益率は分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。
・2018年はファンド設定時から年末まで、2026年は年始から上記作成基準日までの収益率です。

## ◉投資対象ファンドにおける主要な資産の状況

TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

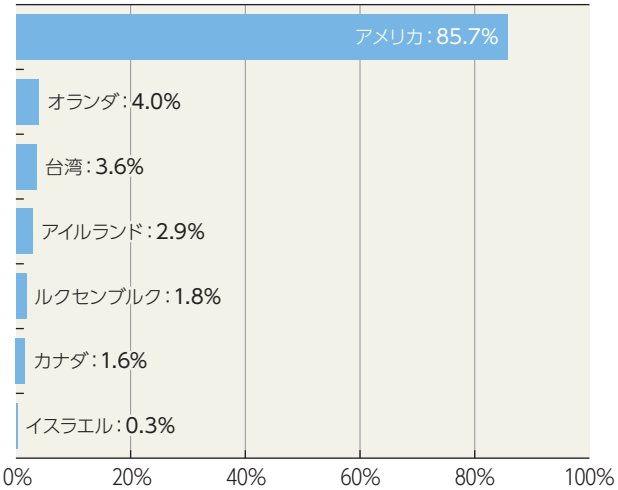
「3.運用実績」における上記ファンドに関する記載は、同ファンドの運用会社であるTCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地月末前営業日基準）に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

業種別比率




・比率は対組入株式等評価額比です。
・業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

国・地域別比率




・比率は対組入株式等評価額比です。

ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
最新の運用実績については、委託会社のホームページでご確認いただけます。

## ◉投資対象ファンドにおける組入上位銘柄

### TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド(円ヘッジクラス)／(ノンヘッジクラス)

| | 銘 柄 | 国・地域 | 比 率 |
|---|---|---|---|
| 1 | エヌビディア | アメリカ | 8.0% |
| 2 | ブロードコム | アメリカ | 6.7% |
| 3 | ルメンタム・ホールディングス | アメリカ | 6.4% |
| 4 | アリスタ・ネットワークス | アメリカ | 6.0% |
| 5 | アルファベット(A) | アメリカ | 5.7% |
| 6 | バーティブ・ホールディングス | アメリカ | 4.8% |
| 7 | マーベル・テクノロジー | アメリカ | 4.6% |
| 8 | アマゾン・ドット・コム | アメリカ | 4.4% |
| 9 | マイクロン・テクノロジー | アメリカ | 4.3% |
| 10 | デジタルオーシャン・ホールディングス | アメリカ | 3.9% |

・比率は対組入株式等評価額比です。

### ニッセイマネーマーケットマザーファンド

| | 銘 柄 | 種 別 | 比 率 |
|---|---|---|---|
| 1 | 第1回　東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年)) | 地方債 | 16.4% |
| 2 | 令和3年度第6回　埼玉県公募公債(5年) | 地方債 | 16.4% |
| 3 | 平成28年度第4回　京都市公募公債 | 地方債 | 9.8% |
| 4 | 第760回　東京都公募公債 | 地方債 | 9.4% |
| 5 | 平成28年度第1回　静岡市公募公債 | 地方債 | 9.4% |

・比率は対組入債券評価額比です。

ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
最新の運用実績については、委託会社のホームページでご確認いただけます。

# 4.手続・手数料等

## お申込みメモ

| | | |
|---|---|---|
| 購入時 | 購入単位 | 販売会社が定める単位とします。 |
| | 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。<br>●収益分配金を再投資する場合は、各計算期間終了日の基準価額とします。 |
| | 購入代金 | 販売会社が定める日までに、販売会社にお支払いください。 |
| 換金時 | 換金単位 | 販売会社が定める単位とします。 |
| | 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| | 換金代金 | 換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。 |
| 申込について | 申込締切時間 | 原則として毎営業日の午後3時30分までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。ただし、申込締切時間は販売会社によって異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にご確認ください。 |
| | 申込不可日 | ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを行いません。 |
| | 購入の申込期間 | 2026年7月25日から2027年1月25日まで<br>●期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。 |
| | 換金制限 | ありません。 |
| | 購入・換金申込受付の中止および取消し | 金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを中止すること、および既に受付けた購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを取消すことがあります。 |
| 決算・分配 | 決算日 | 4・10月の各25日（該当日が休業日の場合は翌営業日） |
| | 収益分配 | 年2回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。<br>分配金受取コース：税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いします。<br>分配金再投資コース：税金を差引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。<br>●販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなる場合があります。 |

# お申込みメモ

| | | |
|---|---|---|
| その他 | 信託期間 | 2044年10月25日まで（設定日:2018年1月10日） |
| | 繰上償還 | ・各ファンドが投資対象とする「TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（円ヘッジクラス）」、「TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（ノンヘッジクラス）」が存続しないこととなる場合には、それぞれのファンドを繰上償還します。<br>・各ファンドにおいて、受益権の口数が10億口を下回っている場合等には、委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。 |
| | 信託金の限度額 | 各ファンドにつき、5,000億円とします。 |
| | 公告 | 電子公告により行い、委託会社のホームページ（https://www.nam.co.jp/）に掲載します。 |
| | 運用報告書 | 委託会社は決算後および償還後に交付運用報告書を作成し、販売会社から受益者に交付します。 |
| | 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。<br>配当控除、益金不算入制度の適用はありません。<br>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の対象となり、いずれのファンドもNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象となります。ただし、販売会社により取扱いが異なる場合があります。<br>詳しくは、販売会社にお問合せください。 |
| | スイッチング | 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、購入時と同様に販売会社が定める購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時と同様に税金がかかる場合があります。<br>●販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。 |

# ファンドの費用・税金

## ◉ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

| | | | |
|---|---|---|---|
| 購入時 | 購入時手数料 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.3%(税抜3.0%)を上限**として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。<br>●料率は変更となる場合があります。<br>詳しくは販売会社にお問合せください。 | ▶**購入時手数料**:購入時の商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに購入にかかる事務手続き等の対価として、販売会社にお支払いいただく手数料 |
| 換金時 | 信託財産留保額 | ありません。 | |

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

**毎日** — **運用管理費用(信託報酬)**

ファンドの純資産総額に年率1.2925%(税抜1.175%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。

▶**運用管理費用(信託報酬)**
=保有期間中の日々の純資産総額×信託報酬率(年率)

信託報酬率(年率・税抜)の配分

| 支払先 | 年率 | 役務の内容 |
|---|---|---|
| 委託会社 | 0.350% | ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 |
| 販売会社 | 0.800% | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| 受託会社 | 0.025% | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |

・表に記載の料率には、別途消費税がかかります。

**投資対象とする外国投資信託証券**

年率0.6%程度

▶投資対象とする外国投資信託証券の運用・管理等にかかる信託報酬率

●年間最低報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。

**実質的な負担**

ファンドの純資産総額に**年率1.8925%(税込)程度**をかけた額となります。

▶ファンドが投資対象とする指定投資信託証券を含め、投資者が実質的に負担する運用管理費用(信託報酬)

●上記は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、投資対象とする外国投資信託証券に年間最低報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。

! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

## ◉ファンドの費用

| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | | |
|---|---|---|---|
| 毎　日 | 監　査　費　用 | ファンドの純資産総額に年率0.011％(税抜0.01％)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。 | ▶**監査費用**:公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用 |
| 随　時 | その他の費用・手　数　料 | 組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 | ▶**売買委託手数料**:有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料<br>▶**信託事務の諸費用**:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用<br>▶**借入金の利息**:受託会社等から一時的に資金を借入れた場合(立替金も含む)に発生する利息 |

! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

## ◉税金

税金は表に記載の時期に適用されます。
以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 分配時 | |
|---|---|
| 所得税および地方税 | 配当所得として課税<br>普通分配金に対して20.315％ |

| 換金(解約)時および償還時 | |
|---|---|
| 所得税および地方税 | 譲渡所得として課税<br>換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315％ |

・少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」は少額上場株式等に関する非課税制度であり、NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たしたファンドを購入するなど、一定の条件に該当する方となります。
詳しくは、販売会社にお問合せください。
・外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記の表における税金と異なる場合があります。
・法人の場合は上記とは異なります。
・上記は有価証券届出書提出日現在の税法に基づくものであり、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
・税金の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## (参考情報)ファンドの総経費率

### 為替ヘッジあり

| 総経費率(①+②) | ① 運用管理費用の比率 | ② その他費用の比率 |
|---|---|---|
| 1.90% | 1.29% | 0.60% |

### 為替ヘッジなし

| 総経費率(①+②) | ① 運用管理費用の比率 | ② その他費用の比率 |
|---|---|---|
| 1.89% | 1.29% | 0.60% |

・対象期間:2025年10月28日～2026年4月27日
・対象期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税は含みません)を対象期間の平均受益権口数に平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した総経費率(年率)です。
・総経費率には、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税以外にも計算に含まれない費用が存在する場合があります。
・投資対象ファンドの運用管理費用は、②その他費用の比率に含めています。また、投資対象ファンドの費用とファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
・①運用管理費用の比率、②その他費用の比率および総経費率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、①と②の合計が総経費率の数字と一致しないことがあります。なお、前記「ファンドの費用」に記載の監査費用は、②その他費用の比率に含めています。
・費用の詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。なお、新たな対象期間にかかる運用報告書が作成され、上記の総経費率が更新されている場合があります。

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

ふくろう教授の投資信託説明書(交付目論見書)
かんたんガイド
https://www.nam.co.jp/news/ipdf/mokuromi_guide.pdf

UD FONT
ユニバーサルデザイン(UD)の考えに
基づいた見やすいデザインの文字を
採用しています。

# 投資信託説明書(交付目論見書)

使用開始日 2026.07.25

# ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

## 愛称:AI革命(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

本書は金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。
ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は、下記の委託会社のホームページで閲覧またはダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれておりますが、約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に添付されています。

**ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。**

委託会社[ファンドの運用の指図を行います]

**ニッセイ アセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者登録番号　関東財務局長(金商)第369号

受託会社[ファンドの財産の保管および管理を行います]

**三菱UFJ信託銀行株式会社**

お問合せ ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9:00～17:00(土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ https://www.nam.co.jp/

本書においては、各ファンドの名称について下記の正式名称または略称のいずれかで記載します。
ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジあり)…為替ヘッジあり
ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)…為替ヘッジなし

## ◉委託会社の情報 (2026年4月末現在)

| | |
|---|---|
| 委託会社名 | ニッセイアセットマネジメント株式会社 |
| 設立年月日 | 1995年4月4日 |
| 資本金 | 100億円 |
| 運用する投資信託財産の合計純資産総額 | 11兆842億円 |

## ◉商品分類等

| ファンド名 | 商品分類 | | | 属性区分 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 単位型・追加型 | 投資対象地域 | 投資対象資産(収益の源泉) | 投資対象資産 | 決算頻度 | 投資対象地域 | 投資形態 | 為替ヘッジ |
| 為替ヘッジあり | 追加型 | 内外 | 株式 | その他資産(投資信託証券(株式(一般))) | 年1回 | グローバル(日本含む) | ファンド・オブ・ファンズ | あり(フルヘッジ) |
| 為替ヘッジなし | | | | | | | | なし |

・属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、為替変動リスクに対する対円でのヘッジの有無を記載しております。

商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人資産運用業協会ホームページ
https://www.imaj.or.jp/ にてご確認いただけます。

- 本書により行う「ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2026年7月24日に関東財務局長に提出しており、2026年7月25日にその届出の効力が生じております。
- ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律に基づいて組成された金融商品であり、同法では商品内容の重大な変更に際しては、事前に受益者(既にファンドをお持ちの投資者)の意向を確認する手続きが規定されています。また、ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法によって受託会社の固有財産との分別管理等が義務付けられています。
- 商品内容・販売会社に関するお問合せは、委託会社のコールセンターで承っております。
- 基準価額(便宜上1万口当りに換算した価額で表示されます)については、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊(ファンド掲載名 為替ヘッジあり:AI革命H有 ／ 為替ヘッジなし:AI革命H無)および委託会社のコールセンター・ホームページにてご確認いただけます。
- 投資信託説明書(請求目論見書)は、投資者のご請求により販売会社から交付されます。ご請求された場合には、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。

# 1.ファンドの目的・特色

ファンドの運用責任者はこちらです。
（同一の運用責任者が各ファンドを担当します）
https://www.nam.co.jp/fundinfo/naikkf_a/main.html

## ファンドの目的

投資対象とする外国投資信託証券を通じ、日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ファンドの特色

### 1 日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI（人工知能）関連企業の株式に投資を行います。

●当ファンドにおけるAI関連企業とは、①AIの基礎技術等を提供する企業、②AIを開発・提供する企業、③AIを活用した製品・サービス等を提供する企業をさします。

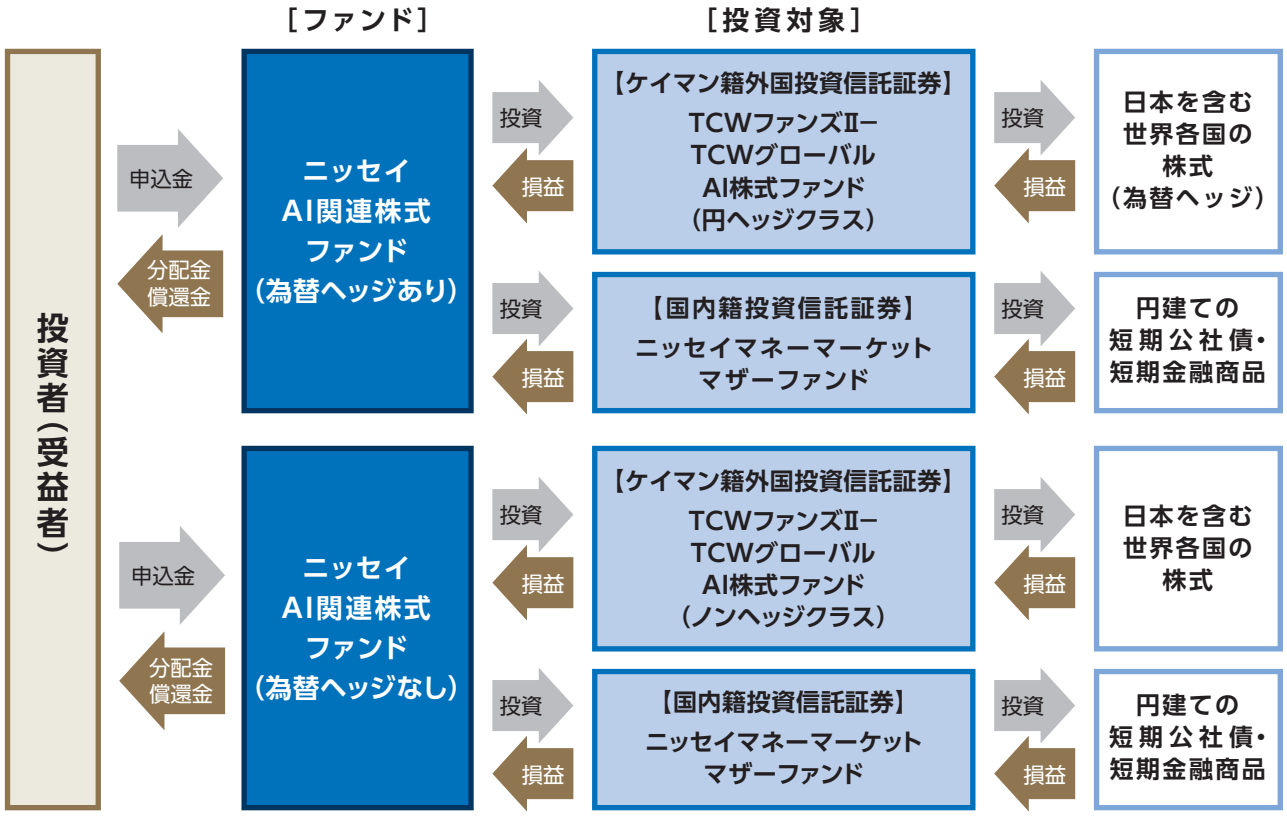
> AI（人工知能）とは、Artificial Intelligenceの略で、学習・推論・判断といった人間の知能のもつ機能を備えたコンピュータ・システムのことをさします。

### 2 株式の運用は、TCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。

●ファンドは、「TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド」の各クラスおよび「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ※方式で運用を行います。
※ファンド・オブ・ファンズとは、投資対象を投資信託証券とするファンドです。

●「TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド」各クラスの組入比率は、原則として高位を保ちます。

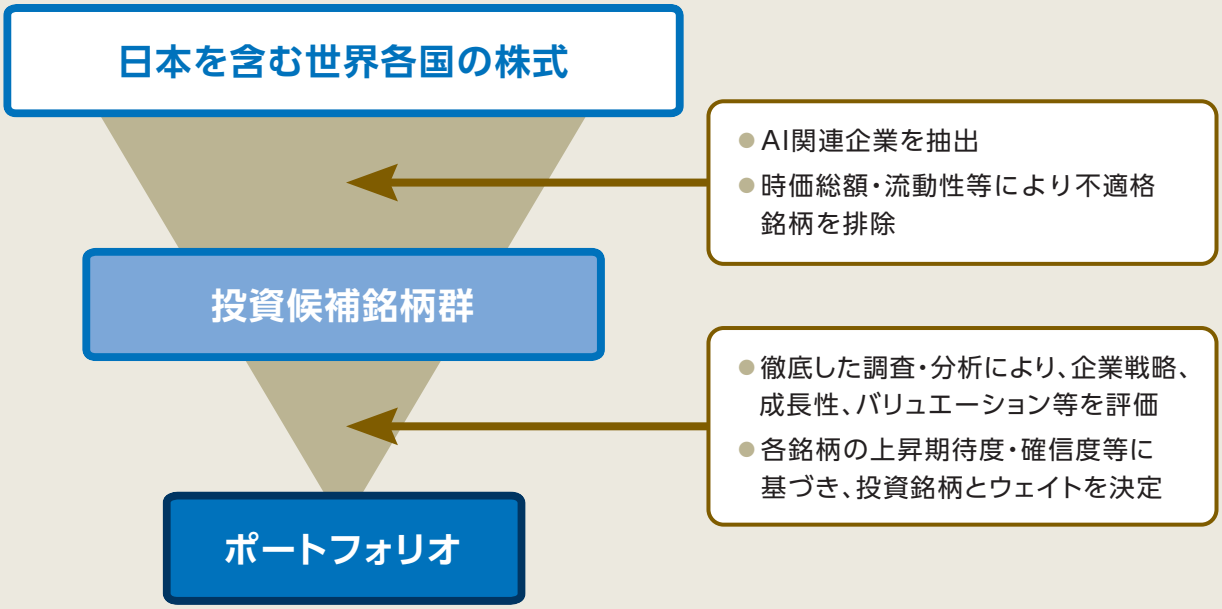
**ファンドの仕組み**



《TCWアセット・マネジメント・カンパニーについて》

TCWアセット・マネジメント・カンパニーは、1971年設立のTCWグループ（以下「TCW」といいます）傘下のグローバル資産運用会社です。TCWは米国、英国、日本、香港等に拠点を有し、機関投資家、年金基金、個人投資家向けに幅広い運用サービスを提供しています。

## 株式運用プロセスのイメージ




・上記運用プロセスは、今後変更となる場合があります。

## 3「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドから選択いただけます。

- 「為替ヘッジあり」は、実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。
- 「為替ヘッジなし」は、実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。
- 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチングが可能です。

・為替ヘッジとは、為替変動による資産価値の変動を回避する取引のことをいいます。
・スイッチングとは、保有しているファンドの換金と同時に乗換えるファンドを購入する取引です。スイッチングの際には、購入時と同様に販売会社が定める購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時と同様に税金がかかる場合があります。
なお、販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

## ◉投資対象とする投資信託証券の概要

以下のそれぞれの投資信託証券を「指定投資信託証券」ということがあります。

**TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（円ヘッジクラス）**

**TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（ノンヘッジクラス）**

・本書においては、各クラスのそれぞれを「外国投資信託証券」ということがあります。

| | |
|---|---|
| 形態 | ケイマン籍 外国投資信託（円建て）／オープン・エンド型 |
| 投資目的 | 日本を含む世界各国の取引所に上場している株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることをめざします。 |
| 運用方針 | **〈各クラス共通〉**<br>AI（人工知能）に関する製品・サービスを開発・提供する企業やAIを活用して事業を展開する企業の株式を中心に投資を行います。<br>**〈円ヘッジクラス〉**<br>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。<br>**〈ノンヘッジクラス〉**<br>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 |
| 主な投資制限 | ●通常の状況において、総資産総額の50%以上を日本の金融商品取引法第2条第1項に規定される有価証券に投資します。<br>●有価証券の空売りは行いません。<br>●同一銘柄の株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。<br>●同一企業の発行済み株式数の半数を超える株式への投資は行いません。<br>●投資信託証券（上場投資信託証券等を除きます）への投資割合は、純資産総額の5%以下とします。<br>●流動性の低い資産への投資は行いません。<br>●原則として残存借入総額は、純資産総額の10%を超えないものとします。 |
| 収益分配 | 原則として、年1回の分配を行う方針です。<br>なお、上記収益分配方針は、ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）の収益分配方針ではありません。 |
| 運用報酬 | 純資産総額に対し、年率0.6%程度<br>なお、年間最低報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。 |
| その他の費用 | 信託財産に関する租税／組入有価証券の売買委託手数料／信託事務の処理に要する費用／信託財産の監査費用／法律関係の費用／外貨建資産の保管費用／借入金の利息　等<br>なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 |
| 購入時手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| 決算日 | 3月31日 |
| 運用会社 | TCWアセット・マネジメント・カンパニー |
| 受託会社 | MUFG Fund Services (Cayman) Limited |
| 管理事務代行会社 | MUFG Fund Services (Cayman) Limited |
| 保管会社 | ルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行 S.A. |

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

| | |
|---|---|
| 投資対象 | 円建ての短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 運用方針 | 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益と流動性の確保をめざします。 |
| 主な投資制限 | ●株式への投資は転換社債の転換等による取得に限るものとし、その投資割合は純資産総額の10%以下とします。<br>●外貨建資産への投資は行いません。 |
| 信託報酬 | ありません。 |
| その他の費用 | 組入有価証券の売買委託手数料／信託事務の諸費用　等<br>なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 |
| 購入時手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| 決算日 | 原則として、4・10月の各15日 |
| 委託会社 | ニッセイアセットマネジメント株式会社 |
| 受託会社 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

## ◉主な投資制限

| | |
|---|---|
| 投資信託証券 | 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 |
| 外貨建資産 | 外貨建資産への直接投資は行いません。 |
| デリバティブ | デリバティブの直接利用は行いません。 |
| 株式 | 株式への直接投資は行いません。 |

! 上記は、「為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」における投資制限です。各ファンドは、投資対象とする指定投資信託証券を通じ、実質的に国内外の株式への投資等を行います。

## ◉収益分配方針

●分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます）等の全額とします。
●分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。
●分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

! 将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。

**資金動向、市況動向等によっては、前述のような運用ができない場合があります。**

# 2.投資リスク

## 基準価額の変動要因

●ファンド（指定投資信託証券を含みます）は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。

●**ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果（損益）はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。**

### ◉主な変動要因

| | |
|---|---|
| 株式投資リスク | 株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化（倒産に至る場合も含む）等により、価格が下落することがあります。 |
| 為替変動リスク | 〈為替ヘッジあり〉<br>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができるとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。<br>〈為替ヘッジなし〉<br>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。 |
| カントリーリスク | 外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。 |
| 流動性リスク | 市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。 |

・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

○ファンドは、特定のテーマに絞った株式への投資を行います。したがって、株式市場全体の値動きとファンドの基準価額の値動きが大きく異なる場合、また、より幅広いテーマで株式に分散投資するファンドに比べ基準価額の変動が大きくなる場合があります。

○分配金に関しては、以下の事項にご留意ください。

・分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

・受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

○ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。
これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受付けを中止する、また既に受付けた換金の申込みの受付けを取消しする可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性などがあります。

○ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ（金融商品取引法第37条の6の規定）の適用はありません。

## リスクの管理体制

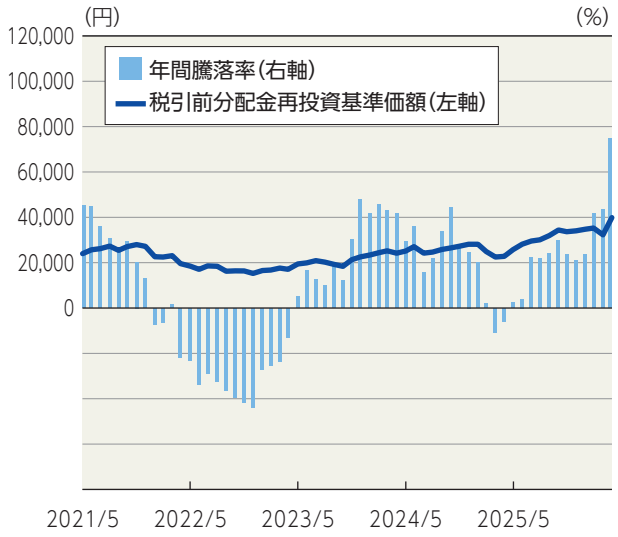
運用リスク管理担当部門が運用状況をモニタリングし、リスク、パフォーマンスの分析・評価、および投資制限等遵守状況・売買執行状況の事後チェックを行います。運用リスク管理担当部門は、そのモニタリング結果を運用担当部門に連絡するとともに社内で定期的に開催される会議で報告します。運用担当部門はその連絡・報告を受けて、必要に応じてポートフォリオの改善を行う等の投資リスクを適正に管理する体制をとっています。

また、委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行っています。そして取締役会等においては、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢などを監督しています。

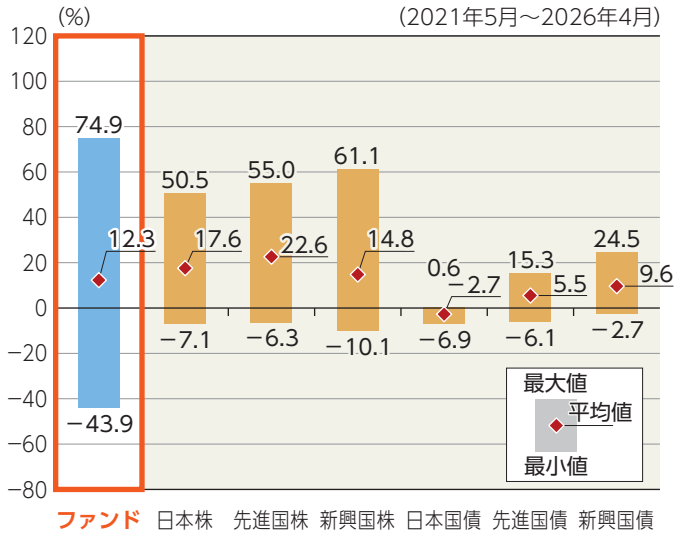
**(参考情報)** 投資リスクに関する参考情報として、ファンドのリスクの定量的な把握・比較を目的に下記のグラフを作成しています。

## ◉ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジあり)

①ファンドの年間騰落率および税引前分配金再投資基準価額の推移

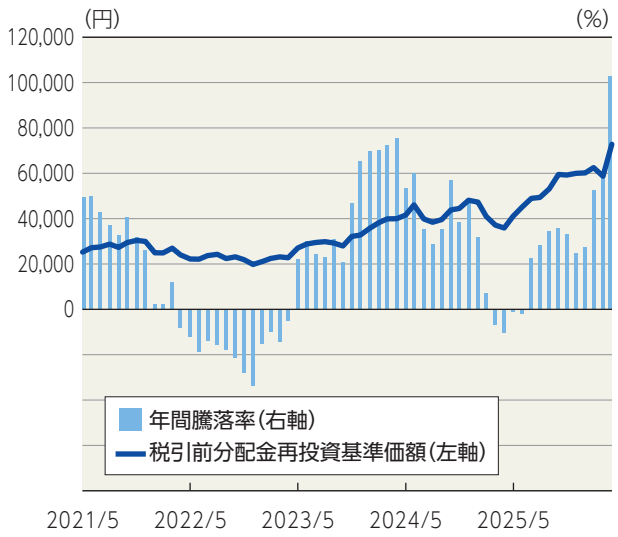



②ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

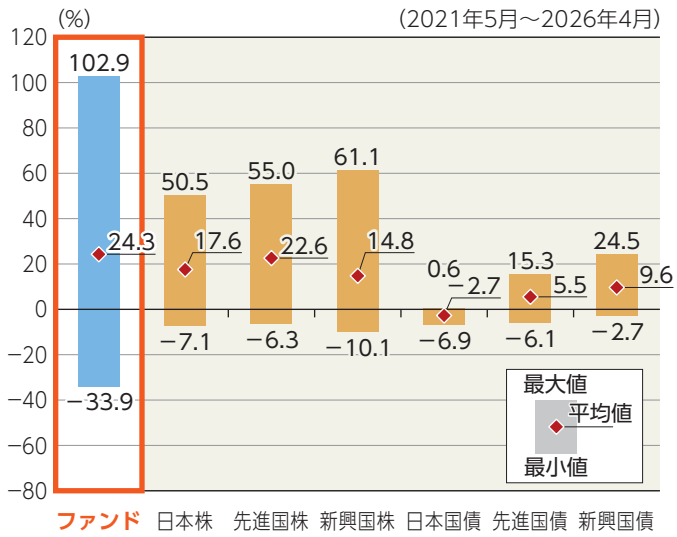



## ◉ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)

①ファンドの年間騰落率および税引前分配金再投資基準価額の推移




②ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較




・グラフにおけるファンドに関する記載は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額によるものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率および実際の基準価額の推移とは異なる場合があります。ファンドおよび代表的な資産クラスの年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率です。
・グラフ①は、過去5年間のファンドの実績です。グラフ②は、過去5年間におけるファンドおよび代表的な資産クラスの年間騰落率の最大値・最小値・平均値について表示しています。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>
日 本 株 ･･･ TOPIX(東証株価指数)(配当込み)
先進国株 ･･･ MSCIコクサイ･インデックス(配当込み、円ベース)
新興国株 ･･･ MSCIエマージング･マーケット･インデックス(配当込み、円ベース)
日本国債 ･･･ NOMURA-BPI 国債
先進国債 ･･･ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
新興国債 ･･･ JPモルガンGBI-EMグローバル･ディバーシファイド(円ベース)
･すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
･海外の指数は、「為替ヘッジなし(対円)」の指数を採用しています。

! 前記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。

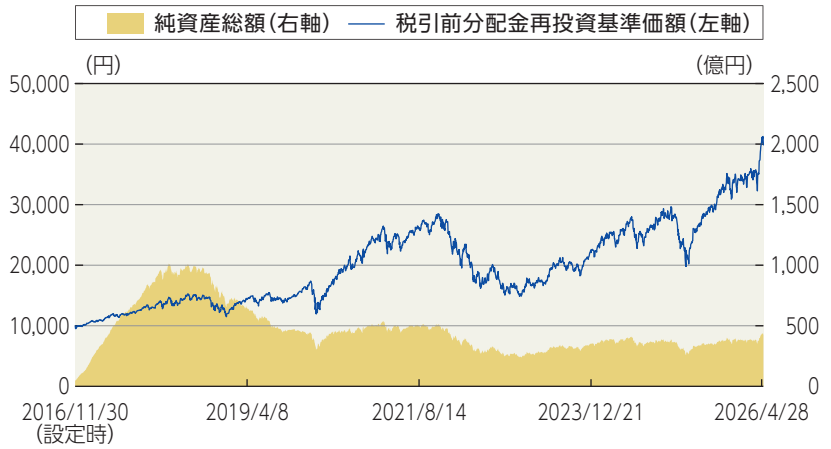
･TOPIX(東証株価指数)の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利･ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
･MSCIコクサイ･インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
･MSCIエマージング･マーケット･インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
･NOMURA-BPI 国債とは、野村フィデューシャリー･リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産は同社に帰属します。なお、同社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
･FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
･JPモルガンGBI-EMグローバル･ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

# 3.運用実績

2026年4月末現在

## ●基準価額・純資産の推移

### ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジあり）



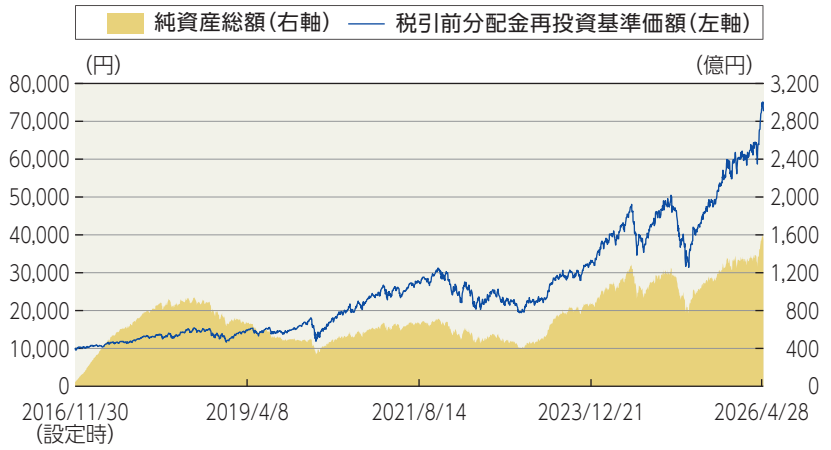

・基準価額は実質的な運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。
・税引前分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 39,869円 |
| 純資産総額 | 422億円 |

●分配の推移　1万口当り（税引前）

| | |
|---|---|
| 2021年10月 | 0円 |
| 2022年10月 | 0円 |
| 2023年10月 | 0円 |
| 2024年10月 | 0円 |
| 2025年10月 | 0円 |
| 直近1年間累計 | 0円 |
| 設定来累計 | 0円 |

### ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジなし）




・基準価額は実質的な運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。
・税引前分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 72,793円 |
| 純資産総額 | 1,546億円 |

●分配の推移　1万口当り（税引前）

| | |
|---|---|
| 2021年10月 | 0円 |
| 2022年10月 | 0円 |
| 2023年10月 | 0円 |
| 2024年10月 | 0円 |
| 2025年10月 | 0円 |
| 直近1年間累計 | 0円 |
| 設定来累計 | 0円 |

## ●組入比率

### ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

| | |
|---|---|
| TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（円ヘッジクラス） | 98.8% |
| ニッセイマネーマーケットマザーファンド | 0.0% |
| 短期金融資産等 | 1.2% |

・比率は対純資産総額比です。

### ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

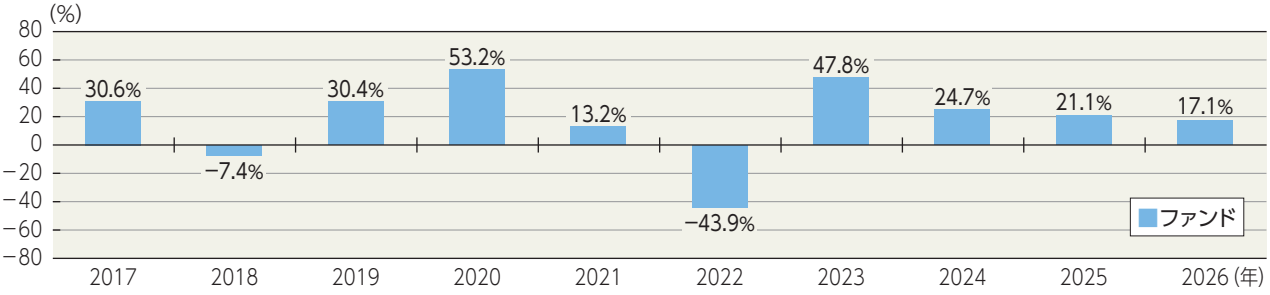
| | |
|---|---|
| TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（ノンヘッジクラス） | 98.7% |
| ニッセイマネーマーケットマザーファンド | 0.0% |
| 短期金融資産等 | 1.3% |

・比率は対純資産総額比です。

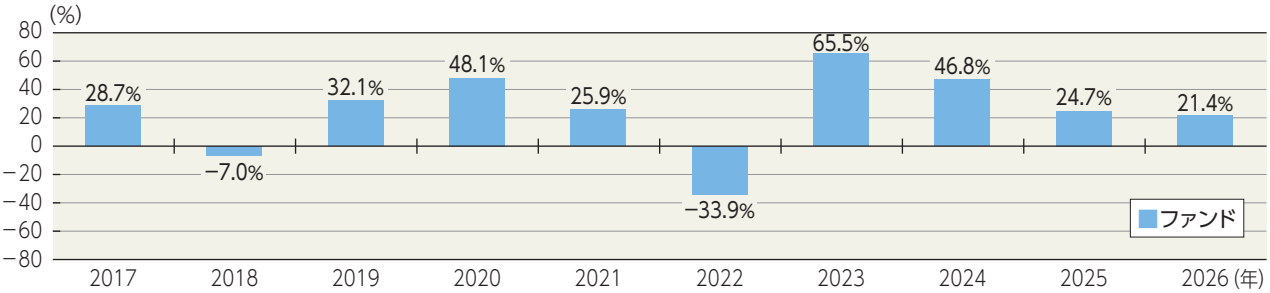
ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
最新の運用実績については、委託会社のホームページでご確認いただけます。

●年間収益率の推移

ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジあり）




ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジなし）



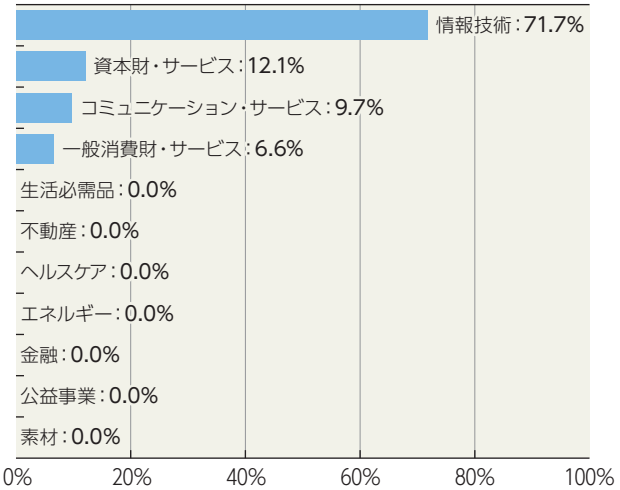

・ファンドにはベンチマークはありません。
・ファンド収益率は分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。
・2026年は年始から上記作成基準日までの収益率です。

## ◉投資対象ファンドにおける主要な資産の状況

TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

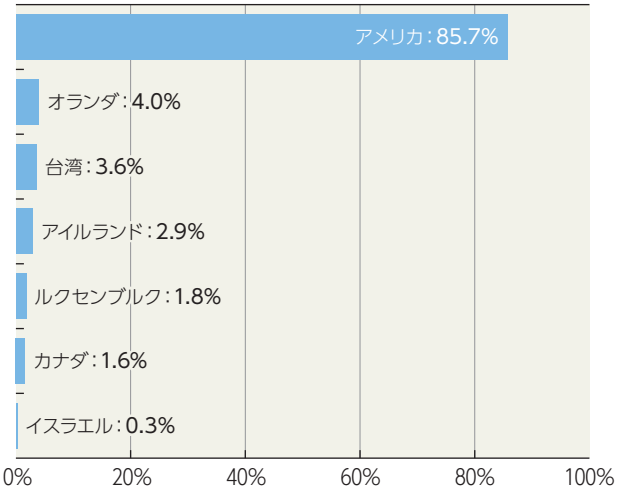
「3.運用実績」における上記ファンドに関する記載は、同ファンドの運用会社であるTCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地月末前営業日基準）に基づきニッセイアセットマネジメントが作成しています。

業種別比率




・比率は対組入株式等評価額比です。
・業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

国・地域別比率




・比率は対組入株式等評価額比です。

ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
最新の運用実績については、委託会社のホームページでご確認いただけます。

## ◉投資対象ファンドにおける組入上位銘柄

### TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド(円ヘッジクラス)／(ノンヘッジクラス)

| | 銘 柄 | 国・地域 | 比 率 |
|---|---|---|---|
| 1 | エヌビディア | アメリカ | 8.0% |
| 2 | ブロードコム | アメリカ | 6.7% |
| 3 | ルメンタム・ホールディングス | アメリカ | 6.4% |
| 4 | アリスタ・ネットワークス | アメリカ | 6.0% |
| 5 | アルファベット(A) | アメリカ | 5.7% |
| 6 | バーティブ・ホールディングス | アメリカ | 4.8% |
| 7 | マーベル・テクノロジー | アメリカ | 4.6% |
| 8 | アマゾン・ドット・コム | アメリカ | 4.4% |
| 9 | マイクロン・テクノロジー | アメリカ | 4.3% |
| 10 | デジタルオーシャン・ホールディングス | アメリカ | 3.9% |

・比率は対組入株式等評価額比です。

### ニッセイマネーマーケットマザーファンド

| | 銘 柄 | 種 別 | 比 率 |
|---|---|---|---|
| 1 | 第1回　東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年)) | 地方債 | 16.4% |
| 2 | 令和3年度第6回　埼玉県公募公債(5年) | 地方債 | 16.4% |
| 3 | 平成28年度第4回　京都市公募公債 | 地方債 | 9.8% |
| 4 | 第760回　東京都公募公債 | 地方債 | 9.4% |
| 5 | 平成28年度第1回　静岡市公募公債 | 地方債 | 9.4% |

・比率は対組入債券評価額比です。

ファンドの運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
最新の運用実績については、委託会社のホームページでご確認いただけます。

# 4.手続・手数料等

## お申込みメモ

| | | |
|---|---|---|
| 購入時 | 購入単位 | 販売会社が定める単位とします。 |
| | 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。<br>●収益分配金を再投資する場合は、各計算期間終了日の基準価額とします。 |
| | 購入代金 | 販売会社が定める日までに、販売会社にお支払いください。 |
| 換金時 | 換金単位 | 販売会社が定める単位とします。 |
| | 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| | 換金代金 | 換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。 |
| 申込について | 申込締切時間 | 原則として毎営業日の午後3時30分までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。ただし、申込締切時間は販売会社によって異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にご確認ください。 |
| | 申込不可日 | ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを行いません。 |
| | 購入の申込期間 | 2026年7月25日から2027年1月25日まで<br>●期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。 |
| | 換金制限 | ありません。 |
| | 購入・換金申込受付の中止および取消し | 金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを中止すること、および既に受付けた購入・換金・スイッチングの申込みの受付けを取消すことがあります。 |
| 決算・分配 | 決算日 | 10月25日（該当日が休業日の場合は翌営業日） |
| | 収益分配 | 年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。<br>分配金受取コース：税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いします。<br>分配金再投資コース：税金を差引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。<br>●販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなる場合があります。 |

# お申込みメモ

| | | |
|---|---|---|
| その他 | 信託期間 | 2044年10月25日まで（設定日:2016年11月30日） |
| | 繰上償還 | ・各ファンドが投資対象とする「TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（円ヘッジクラス）」、「TCWファンズⅡ−TCWグローバルAI株式ファンド（ノンヘッジクラス）」が存続しないこととなる場合には、それぞれのファンドを繰上償還します。<br>・各ファンドにおいて、受益権の口数が10億口を下回っている場合等には、委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。 |
| | 信託金の限度額 | 各ファンドにつき、5,000億円とします。 |
| | 公告 | 電子公告により行い、委託会社のホームページ（https://www.nam.co.jp/）に掲載します。 |
| | 運用報告書 | 委託会社は決算後および償還後に交付運用報告書を作成し、販売会社から受益者に交付します。 |
| | 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。<br>配当控除、益金不算入制度の適用はありません。<br>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の対象となり、いずれのファンドもNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象となります。ただし、販売会社により取扱いが異なる場合があります。<br>詳しくは、販売会社にお問合せください。 |
| | スイッチング | 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、購入時と同様に販売会社が定める購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時と同様に税金がかかる場合があります。<br>●販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。 |

# ファンドの費用・税金

## ◉ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

| | | | |
|---|---|---|---|
| 購入時 | 購入時手数料 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.3%(税抜3.0%)を上限**として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。<br>●料率は変更となる場合があります。<br>詳しくは販売会社にお問合せください。 | ▶**購入時手数料**:購入時の商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに購入にかかる事務手続き等の対価として、販売会社にお支払いいただく手数料 |
| 換金時 | 信託財産留保額 | ありません。 | |

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

**毎日** — **運用管理費用(信託報酬)**

ファンドの純資産総額に年率1.2925%(税抜1.175%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。

▶**運用管理費用(信託報酬)**
=保有期間中の日々の純資産総額×信託報酬率(年率)

信託報酬率(年率・税抜)の配分

| 支払先 | 年率 | 役務の内容 |
|---|---|---|
| 委託会社 | 0.350% | ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 |
| 販売会社 | 0.800% | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| 受託会社 | 0.025% | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |

・表に記載の料率には、別途消費税がかかります。

**投資対象とする外国投資信託証券**

年率0.6%程度

▶投資対象とする外国投資信託証券の運用・管理等にかかる信託報酬率

●年間最低報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。

**実質的な負担**

ファンドの純資産総額に**年率1.8925%(税込)程度**をかけた額となります。

▶ファンドが投資対象とする指定投資信託証券を含め、投資者が実質的に負担する運用管理費用(信託報酬)

●上記は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、投資対象とする外国投資信託証券に年間最低報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。

! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

## ◉ファンドの費用

| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | | |
|---|---|---|---|
| 毎　日 | 監　査　費　用 | ファンドの純資産総額に年率0.011％(税抜0.01％)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。 | ▶**監査費用**:公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用 |
| 随　時 | その他の費用・手　数　料 | 組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 | ▶**売買委託手数料**:有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料<br>▶**信託事務の諸費用**:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用<br>▶**借入金の利息**:受託会社等から一時的に資金を借入れた場合(立替金も含む)に発生する利息 |

! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

## ◉税金

税金は表に記載の時期に適用されます。
以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 分配時 | |
|---|---|
| 所得税および地方税 | 配当所得として課税<br>普通分配金に対して20.315％ |

| 換金(解約)時および償還時 | |
|---|---|
| 所得税および地方税 | 譲渡所得として課税<br>換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315％ |

・少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」は少額上場株式等に関する非課税制度であり、NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たしたファンドを購入するなど、一定の条件に該当する方となります。
詳しくは、販売会社にお問合せください。
・外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記の表における税金と異なる場合があります。
・法人の場合は上記とは異なります。
・上記は有価証券届出書提出日現在の税法に基づくものであり、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
・税金の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## (参考情報)ファンドの総経費率

### 為替ヘッジあり

| 総経費率(①+②) | ① 運用管理費用の比率 | ② その他費用の比率 |
|---|---|---|
| 1.89% | 1.29% | 0.60% |

### 為替ヘッジなし

| 総経費率(①+②) | ① 運用管理費用の比率 | ② その他費用の比率 |
|---|---|---|
| 1.89% | 1.29% | 0.60% |

・対象期間:2024年10月26日～2025年10月27日
・対象期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税は含みません)を対象期間の平均受益権口数に平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した総経費率(年率)です。
・総経費率には、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税以外にも計算に含まれない費用が存在する場合があります。
・投資対象ファンドの運用管理費用は、②その他費用の比率に含めています。また、投資対象ファンドの費用とファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
・①運用管理費用の比率、②その他費用の比率および総経費率は、表示桁数未満を四捨五入しているため、①と②の合計が総経費率の数字と一致しないことがあります。なお、前記「ファンドの費用」に記載の監査費用は、②その他費用の比率に含めています。
・費用の詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。なお、新たな対象期間にかかる運用報告書が作成され、上記の総経費率が更新されている場合があります。

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

ふくろう教授の投資信託説明書(交付目論見書)
かんたんガイド
https://www.nam.co.jp/news/ipdf/mokuromi_guide.pdf

UD FONT
ユニバーサルデザイン(UD)の考えに
基づいた見やすいデザインの文字を
採用しています。

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

ふくろう教授の投資信託説明書(交付目論見書)
かんたんガイド
https://www.nam.co.jp/news/ipdf/mokuromi_guide.pdf

UD FONT
ユニバーサルデザイン(UD)の考えに
基づいた見やすいデザインの文字を
採用しています。